

## 『自分の人生をリードすること』

株式会社ロスゼロ代表取締役  
NPO同志社大学産官学連携支援ネットワーク理事  
近畿経済産業局女性起業家応援プロジェクトメンター  
豊中市経営改革委員  
大阪大学大学院国際公共政策研究科招へい教員

文 美月

私は二度の起業経験があり、経営者歴は23年になります。ひょっこり起業家が頭をあちこちぶつけ、失敗を繰り返しながら、多くの人に助けられたおかげで現在まで生き延びて事業を続けています。リーダーシップとは、直訳すると周りを導く(=Leadする)力となりますが、明確なルールブックが存在しないスタートアップの世界において、起業家はまず「Lead myself」であるべきです。成功している起業家を数多くみてきて実感するのは、自分の中に確たる芯、つまりぶれない体内羅針盤を持っている、ということです。

「何があっても、実現したい世界がある。そのために自分がリスクを負い、新たな課題に挑む。ない道を自分で作っていく」。そんな人生を選ぶ自分に最終的な責任を取ることを恐れない姿勢が必要です。船の竜骨のように、多くのさまざまな圧力に耐えて進路から外れず進む経営者の姿を見て、自然と周りが影響を受け始めます。すると共感しあう仲間が一人、二人と増えていくでしょう。そうなれば経営者は、気負ってぐいぐいひっぱる必要がなくなります。周りを導くところだけにフォーカスしていないのです。そして、自分で判断して職務を遂行できるスタッフが育てば、自律的したチームとしてさらに強くなっていきます。

私は新卒で入社した大手企業を離れ、結婚出産後に起業したのですが、その決断をした日から「自分の足で、自分の人生をリードする」ことになりました。この人生の選択を後悔したことは一度もありません。

日本政府が掲げるスタートアップ育成5か年計画により、今、日本では多くの起業家が生まれています。私がこれからの起業家に伝えられることは、世界と垣根がなく厳しい(それだけチャンスも多い)環境で戦っていくためにも、自分の決断に自信を持ち、ぶれない体内羅針盤を育ててほしいということです。